

官報

號外 昭和十六年三月二日

第七十六回 貴族院議事速記録第二十二號

帝國議會

昭和十六年三月一日(土曜日)午前十時八分開議

議事日程 第二十二號

昭和十六年三月一日

午前十時開議

第一 昭和十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議(委員長報告)

第二 昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議(委員長報告)

第三 昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議(委員長報告)

第四 昭和十五年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議(委員長報告)

第五 昭和十五年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議(委員長報告)

第六 昭和十五年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議(委員長報告)

第七 治安維持法改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 筑肥線桃川、大村線彼杵ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願

會議

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サセマス

(丸龜書記官朗讀)

去月二十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ兩院協議會成案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

刑法中改正法律案兩院協議會成案

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和十四年度第一豫備金支出ノ件、日程第二、昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件、日程第三、昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件、日程第四、昭和十五年度第二豫備金支出ノ件、日程第五、昭和十五年度特別會計第二豫備金支出ノ件、日程第六、昭和十五年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、是等ノ六件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナト認メマス、委員長八條子爵

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

昭和十四年度第一豫備金支出ノ件、昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件、昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件、昭和十五年特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和十五年特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件、右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月二十八日

委員長 子爵八條 隆正

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(子爵八條隆正君演壇ニ登ル)

○子爵八條隆正君 昭和十四年度第一豫備金支出ノ件外五件ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、此ノ特別委員會ハ昨二月二十八日午前十時ニ開會致シマシテ、各委員熱心ニ審査ヲ遂ゲラレマシテ、午後七時頃ニ至リマシテ漸ク質問ヲ終了致シ、討論ヲ經テ、採決致シマシテ結果、滿場異議ナク各件共承諾ヲ與フベキモノナリト議決致シマシタ、今其ノ全體ニ互ル數字ニ付テ御說明申シマス、昭和十四年度ニ於キマシテハ、一般會計第一豫備金ヨリ二千九百九十七萬餘圓、特別會計第一豫備金ヨリ千八百四十三萬餘圓、同ジク豫備費ヨリ四千

三十七萬餘圓、合計八千八百七十八萬餘圓ノ支出デアリマス、次ニ昭和十五年度ニ於キマシテハ、一般會計第二豫備金ヨリ七千九百九十九萬餘圓、特別會計第二豫備金ヨリ千二百二十一萬餘圓、合計九千二百二十萬餘圓ヲ支出致シテアリマス、右ハ何レモ豫備金又ハ豫備費ノ豫算ノ範圍内ノ支出デアリマス、次ニ昭和十五年特別會計豫備金外ニ於テ、其ノ歳入金ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ致シマシタモノ二千二百八十三萬餘圓、同ジク國庫剩餘金ヲ以テ豫算外支出ヲ爲シタルモノ千二百二十三萬餘圓デアリマシテ、豫備金外支出ノ合計ハ三千四百七萬餘圓デアリマス、是ヨリ少シク審議ノ間ニ於キマスル質疑應答ヲ御紹介申上ゲマス、昭和十四年度一般會計第一豫備金支出ノ中ニ於キマシテ、内務省所管ニ於テ警察費連帶支辨金二百五十九萬五千餘圓ガアルノデアリマス、之ニ付キマシテ其ノ支出ヲ必要ト致シマシタ理由ニ付テ質問ガアッタノデアリマス、ソレニ對シマシテ説明ニ依リマス、此ノ警察連帶支辨金ニ付キマシテハ、毎年度略、此ノ位ノ支出ノ増加ヲ必要トスルノデアッテ、別ニ恆例デアッテ特別ノ理由ハナイノデアアルト云フ説明デアリマシタ、豫算ニハ前三年平均位ノモノヲ計上致シマシテ、不足ハ第二豫備金ヨリ補充スルコトニ大體ナッテ居ル例デアリマシテ、併シナガラ十二年度十三年度モ此ノ位ノ金額ハ補充ヲ致シタノデアアルガ、其ノ形式ハ十二年度十三年度共、追加豫算ノ形式ニ相成ッテ居ル

明治三十五年三月三十一日

ト云フコトデアリマス、ソレニ付キマシテ質問者ハ、其ノ説明ノヤウニ毎年恒例的ニ支出ヲ要スルモノデアラナラバ、是ハ豫算編成ノ時、ソレダケノモノヲ計上スベキデアルデハナイカト云フコトデアリマシタガ、當局ハ、之ニ付テハ今後十分注意ヲ致スト云フヤウナ答辯デアリマシタ、是ハ討論ニ於キマスルコトニ關係ガアリマスルカラ、茲ニ此ノ際御紹介申シテ置キマス、次イデ厚生省ノ所管ニ於キマシテ軍事扶助費ガ二千二百七十萬圓ノ豫備金支出ニナッテ居リマス、デ如何ニモ此ノ金額ガ多額デアリマスノデ、是ハ豫算編成ノ當時ニ豫見セナカッタコトデアルカト云フ質問デアリマシタガ、扶助ヲ要スル人員ノ豫想ガ困難デアッテ、豫算編成ノ時ニハ五千萬圓程度ヲ計上致シタノデアアルガ、兵員ノ數トカ或ハ歸郷者ノ豫想ガ困難デアッタガ爲ニ、斯クノ如キ多額ノ支出ヲ要シタ次第デアルト云フコトデアリマシタ、併シ十六年度ニ於キマシテハ、先ヅ補充ノ必要ハナカラウト思フガ、何分推移ノ程ハ不明デアルト云フ説明デアリマシタ、次ニ同年度特別會計第一豫備金支出ノ中ニ於キマシテ、金資金特別會計ニ於キマシテ、金資金ノ運用損失金ガ三百六十六萬二千餘圓支出ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ金銀地金ノ賣却ニ依ル損失金ノ決濟ニ關シマシテ、運用損失金ノ支出ヲ要スルモノガ多カッタノデアルト云フコトニナッテ居リマスルガ、其ノ損失ヲ生ジタル原因、或ハ又之ニ關聯致シマシテ種々金ニ關

スル質問ガアッタノデアリマスガ、是ハ事柄ニ鑑ミマシテ秘密會ト相成ッタノデアリマス、其ノ秘密會ニ於キマシテ質疑應答ヲ十分致サレマシタガ、政府委員モ亦詳細ニ説明ヲセラレマシタ、併シナガラ事秘密會ニ屬スルコトデアリマスルカラ、此ノ際説明ヲ省略致スコトニ致シマス、又同年度特別會計豫備費ノ支出ニ於キマシテ、拓務省所管ニ於キマスル臺灣米穀移出管理特別會計ニ關スル質問デアリマスルガ、是ハ前々議會ニ於キマシテ、此ノ移出管理ノ創設當時ニ於キマシテ、相當議論ノアッタ事デアリマスルカラ、此ノ際少シク政府ノ説明ヲ御紹介致シマス、移出管理實施ノ狀況ニ付テノ質問デアリ、又答辯デアッタノデアリマスガ、此ノ管理ヲ實施致シマシタノハ昭和十四年十一月一日デアリマス、ソレデ十四年度ノ五箇月間ニ於ケル決算ニ依リマスルト、此ノ特別會計ニ於ケル差益金ガ約千萬圓ニ相成ッテ居ルノデアリマス、デ此ノ千萬圓ト云フコトハ、取扱ノ數量ガ若干減少シタニ拘ラズ、豫算ニ比シテ差益金ガ著シク増大致シテ居ルノデアリマス、其ノ理由ハ、内地ニ於ケル米價ノ大幅値上ニ對應シテ、臺灣ニ於テ即時値上ヲ行ツタナラバ、斯クノ如キ大イナル差益金ハナカッタノデアアルガ、島内ノ事情ニ依ッテ漸次ニ數回ニ互ッテ値上ヲ行ツテ、昨年十一月ノ最後ノ値上ニ依リマシテ、略々内地ノ値上ノ幅ト接近ヲ致シタノデアリマス、併シ此ノ制度ノ目的ハ、差益金ヲ上グル爲デハナイノデアッテ、故ニ今後ニ

於テハ斯カル大イナル差益金ガ出ルヤウナコトニハナラヌダラウ、又今後十分注意スル積リデアルトノコトデアリマシタ、而シテ又米ノ作柄ノ狀況ニ付キマシテハ、昨年ノ一期作ハ豐作デアッテ五百萬石ヲ超エタ、處ガ二期作ハ、平年作ニ比較致シマシテ百數十萬石ヲ減少シテ三百七十萬石ト相成ッテ居ル、其ノ原因ハ、昨年八月九月ニ於ケル二回ニ互ル稀有ノ大暴風雨がアッタ、其ノ被害ノ爲デアルトノコトデアリマス、米穀管理ノ實施ノ時ニ、議會ニ於テ米穀管理ヲ實施致シタナラバ、其ノ結果米ノ減產ヲ來シハセヌカト云フコトニ付キマシテ、相當御議論ガアッタノデアアルガ、今日ニ於テ其ノ結論ヲ言フコトハマダドウカト思フ、今後數年間ノ後ノ推移ヲ見ルノ必要ガアル、當局トシテハ、米穀管理ノ理由ガ、農產物ノ調和的發展ニアル以上、本來ノ目的達成ノ爲萬全ノ注意ヲ拂ヒ、島内ニ於ケル不安不満ヲ懷カセルガ如キ事實ヲ防止スル爲ニ、細心ノ注意ヲ拂ヒ運用シテ参リタイト云フ答辯デアリマシタ、次ニ昭和十五年度第二豫備金支出ノ中ニ於キマシテ、内務省所管ニ於テ、生活必需品切符制度實施費四十二萬四千餘圓ノ支出ガアルノデアリマス、此ノ支出ハ「マッテ」、砂糖ノ切符制度實施ニ伴ヒマシテ、市町村ニ職員ヲ増置スル爲ニ、各市町村ニ對シテ、一定ノ標準ニ依ッテ經費ヲ補助シタモノデアルト云フコトデアリマスルガ、之ニ對シマシテ一委員ハ、近時部落會トカ、町内會トカ、隣組トカ云フヤウ

ナモノガ出來テ、市町村ニ屬スル事務ノ一部分ヲ是等ノモノニ行ハシメテ、而モ事務費ヲ與ヘナイ、ソレガ爲ニ是等ノ町内會ヤ部落會、隣組ト云フ如キ所デハ、住民ヨリ會費ヲ徴收シテ、而シテ之ヲ納付シナイ所ノ住民ニハ、切符ニ依ル生活必需品ヲ配給セナイト云フヤウナ所ガアリ、或ハ又配給ニ手加減ヲ加フルモノガアルヤニ聞クノデアアル、併シナガラ生活必需品ノ如キモノハ、國民一様ニ漏レナク配給スベキモノデアルト思フノデアアル、是等ニ鑑ミテモ、市町村ノ事務ノ一部ヲ是等ノモノニ轉嫁スルナラバ、其ノ費用ヲ與ヘナケレバナラス、此ノ切符制度實施費ノ如キモ、市町村ニ之ヲ與フルダケデナク、隣組其ノ他ノモノニモ配付セシムルノ必要ガアリハセヌカト云フ御説デアッタノデアリマスルガ、之ニ對シテ政府ハ、此ノ豫備金支出ノ實施費ト云フモノハ、砂糖、「マッテ」ノ配給ニ關スルモノデアアルカラシテ、是位ノコトナラバ部落會ヤ町内會等ニ費用ヲ與ヘル必要ハナイト思ウタノデアアル、他日他ノ事柄ニ付テモ段々斯ウ云フ事柄ガ及ンダナラバ、其ノ際ニ考フルコトモアラウト云フ答辯デアリマシタ、又其ノ費目ヲ質問者ガ指示サレナカッタノデ、ドノ費目ニ付テノ御質問デアッタカハ分ラナイノデアリマスガ、恐ラク是ハ大政翼贊會ニ關スルコトデアラウト思フノデアリマスルガ、此ノ大政翼贊會ニ對スル豫備金支出ニ依ル補助金ハ、昨年十二月二十一日ニ支出ヲ致シタノデアリマス、ソレデ此ノ質

問者ハ、新設ノ團體ニ對シテ議會直前ニ於テ第二豫備金ヨリ支出シタル先例アリヤト云フ御質問ガアツクノデアリマスガ、其ノ答ニ依リマス、昭和十四年度ニ於テ、東亞經濟懇談會ニ、十四年十一月十五日ニ支出シタコトガアル、又此ノ本年度、詰リ十五年度ニ於キマシテモ大日本産業報國會ニ、十五年十二月二十一日ニ支出致シテ居ル、十三年度ニ於テモアツカノヤウニ思フ、併シ餘リ古イコトハ存ゼナイト云フ答辯デアリマシタ、而シテ大藏省所管ノ大政翼贊會ニ對スル補助金ノコトニ付キマシテハ、相當御質疑御意見ガアツクノデアリマスハ、即チ大藏省所管ニ於キマシテ、大政翼贊會補助トシテ九十三萬圓ヲ第二豫備金ヨリ支出シテ居ルノデアリマス、此ノ九十三萬圓ト云フノハ、昭和十五年十月初メヨリ十六年二月申ノ經費ニ對スル補助デアルトノコトデアリマス、本件ニ付キマシテ、翼贊會成立當時ヨリ補助金支出ニ至ル前後ニ於ケル同會ノ經理ノ狀況及同會豫算内容等ニ付キマシテ詳細ナル檢討ヲ加ヘラレタノデアリマス、今期議會ニ現レマシタル翼贊會補助金ハ三件ニナツテ居ルノデアリマシテ、即チ此ノ九十三萬圓ガ第一豫備金支出トナツテ居リマス、次イデ昭和十六年ノ三月分ト致シマシテ、十五年度追加豫算ニ六十五萬圓ヲ計上シテ居リマス、又十六年度分全年度分ト致シマシテ八百萬圓ガ追加豫算トシテ計上サレマシテ、此ノ追加豫算ハ既ニ議會ノ協賛ヲ經タモノデアリマ

ス、ソレデ同會ノ創立前後ニ於ケル經費ト致シマシテハ、創立當時ニ於キマシテハ、同會關係者ノ個人名義ニ依ッテ、市中銀行ヨリ當座借越契約ヲシテ經費ヲ支辨シテ參ッタデアリマス、而シテ精神總動員中央聯盟ガ、其ノ目的タル事業ガ翼贊會ニ締結包含セラル、コトト相成リマシタ結果、精神總動員中央聯盟ハ十月ニ解消致シテ、十一月ニ相成リマシテ同會ニ對スル政府ノ補助金ノ殘額ヲ、即チ金額ニ致シマシテ七萬八百五十八圓デアリマス、之ヲ翼贊會ニ引繼イダノデアリマス、處ガ此ノ金ハ、十二月二十八日附ヲ以テ返納ヲ命ジマシタルニ依リマシテ、本年一月十八日ニ至ッテ之ヲ政府ニ返納致シタノデアリマス、右ノ如キ經過デアリマスルガ、之ニ付キマシテ質問者ハ、翼贊會ヨリ引繼ギタル金額ハ二十萬圓トカ或ハ三十萬圓トカ云フ風ニ噂ヲ聞イテ居ルノデアアルガ、果シテ其ノ金額ハ幾ラデアツカ、又此ノ引繼イダ補助金ハ、大政翼贊會ニ於テ一時融通ヲシテ居タノデアアルカト云フ御質問デアツクノデアリマス、之ニ對シマシテ多分一時融通ヲシテ居タノデアアラウト思フ、併シナガラ精神總動員中央聯盟ヨリ大政翼贊會ガ引繼イダ金額ハ、是ハ確カニ七萬八千餘圓デアリマシテ、其ノ金額ヲ一月ニ至ッテ政府ニ返納シタモノデアアルノデアアルト云フコトデアリマシタ、次イデ質問者ハ、追加豫算九十三萬圓ハ大政翼贊會ノ十月以降二月中ノ費用ニ充當スル分デア

ルト云フコトデアアルガ、二月分ト云フモノハ追加豫算トシテ要求スベキデハナイカ、二月分迄モ豫備金支出ニ依ルト云フコトハ不當デハナイカト云フ質問デアツクノデアリマス、ソレニ對シマシテハ、二月中トスルモノハ近年ノ例デアツテ、追加豫算トシテ協賛ヲ求メルト、時ニ依ルト議會ノ協賛ヲ得ルコトガ遅延シテ間ニ合ハナイト云フヤウナ處ガアルノデ、近來ハ月割額ニ依ルモノハ、多クハ二月中迄ヲ豫備金支出ヲ致シテ居ル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソコデ精神總動員中央聯盟ノ補助金ヲ、一時翼贊會ニテ引繼イデ使用シタルト云フコトハ、其ダ不穩當デアルト思フ、又精神總動員中央聯盟ガ解消シタナラバ、其ノ補助金ノ殘餘ハ政府ニ返納シテ、翼贊會ニ於テ補助ノ必要ガアレバ、更ニ改メテ翼贊會ニ對シテ補助スルノガ當然ノ處置デアルト思フ、兩會ガ内輪デ取引スルト云フコトハ宜シクナイ、併シナガラ政府ハ豫メ此ノ引繼ヲ承認シタルモノデアアルカドウカト云フ御質問デアツクノデアリマスガ、之ニ對シマシテ、政府ハ、引繼ニ付キマシテハ政府ハ豫メ承認ヲ與ヘタ、之ニ付テハ精神總動員中央聯盟ハ、翼贊會ニ統合シタモノデアアルカラ、引繼ガセテモ差支ナイト云フ監督官廳ノ解釋デ承認ヲシタノデアアル、併シナガラ後ニ至リマシテ、其ノ取扱ハ面白クナイ、返納サセルベキモノデアルト云フコトニナリマシテ、整理ヲ致シタノデアアル、政府部内ニ於ケル監督官廳ト財務當局トノ間ノ連絡ヲ缺イタ爲デアルト云フ答辯デアリマシタ、併シナガラ質問者ハ、大

藏省ハ國家ノ財政ヲ經理スル上ヨリ考ヘテ、正確ヲ期セナケレバナラスモノデアアル、將來ニ對シテハ如何ナル考デ居ルカト云フ御尋デアリマシタガ、之ニ對シマシテハ、今回ハ監督官廳ト大藏省トノ間ノ連絡ヲ缺イタ爲ニ斯カルコトニ相成ツタト云フコトハ誠ニ遺憾デアアル、過チヲ改ムル心構ヘヲ以テ進ンデ行キタイト思フ、斯カル引繼ノ如キハ將來餘リ起ラスト思フ、今回一回限りデアラウト思フ、將來ハ深ク戒慎ヲ致ス考デアルト云フ答デアリマシタ、又ソレニ付キマシテ質問者ハ、二月以降ノ分ハ、追加豫算ニ廻スベキモノデアアル、第二豫備金支出ハ承認ヲ致シ難イコトデアルト云フ御説デアリマシタガ、之ニ對シマシテハ、將來ノ問題トシテハ能ク注意シテ、御批判ノヤウナコトニ至ラザルヤウニ念ヲ入レルコトニ注意ヲスル積リデアルト云フコトデアリマシタ、斯カル質疑ヲ經マシテ、質問者モ、二月分ハ認め難イノデアアルケレドモ、今後注意ヲスルトノコトデアアルガ故ニ、今回限りハ承認スル積リデアルト云フ御説デアリマシタ、大體質疑ハ斯クノ如キ事柄デアリマスガ、其ノ他ノ詳細ニ互ルコトハ此ノ際省略致シマス、次イデ討論ニ移リマシタガ、一委員ハ、翼贊會補助金ニ付キマシテ御意見ガアツクノデアリマス、即チ精神總動員中央聯盟ノ補助金ノ引繼ノ件デアリマス、又二月以降ノ分ハ追加豫算ニ廻スベシトノコトデアリマス、此ノ一點ニ付キマシテハ、政府ハ將來十分戒ムルト云フコトデアアルガ故ニ、嚴重

ナル注意ヲ願フテ置ク、其ノ他ノコトニ付テハ別ニ意見ガナイカラシテ、此ノ全部各案ニ對シテ承諾ヲ與ヘテ宜イト思フト云フ御意見デアリマシタ、又他ノ一委員ハ、翼贊會ニ關スル件ニ付テハ、前委員ノ御説ニ同感デア、尙警察費連帶支辨金ノ第二豫備金支出ノ如キモ、年々豫備金支出ガ斯クノ如ク恒例的ニアルモノナラバ、是ハ豫算編成ノ時ニ豫算ニ計上シテ置クベキモノデア、是ハ蓄ニ警察連帶支辨金ニ限ツタコトデナク、是ハ一例ニ過ギナイノデアツテ、年々同ジヤウニ第二豫備金ヨリ支出ヲ要スルガ如キ費目ハ、常ニ豫算ニ計上スベキモノデア、豫算ニ計上スベキモノヲ計上セズシテ豫備金支出トスルノハ、綱紀ヲ正シ、支出ヲ嚴ニスルノ必要ガアル、又一面ニ於テ議會ノ協贊權ニ關スル大切ナルコトデア、以後注意ヲセラルベキデア、此ノ旨ヲ警告シテ、各案ニ對シテハ承諾ヲ與ヘテ宜カラウト云フ御意見デアリマシタ、斯クテ採決ニ入リマシタガ、全員承諾ヲ與フベシトスルコトニ異議ナシト云フコトニ議決致シタ次第デアリマス、以上ヲ以テ御報告ト致シマス

○子爵大河内輝耕君 只今ノコトニ付テ意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 宜シウゴザイマス

(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)

○子爵大河内輝耕君 翼贊會ノ豫備金支出ニ付キマシテハ、只今委員長ヨリ詳細ノ御

説明ガゴザイマシタ、私ハ其ノ御説明ニ對シテ全然敬意ヲ表スルモノデアリマス、併シ私ハ之ニ對シマシテ、只今御説明ニアッタ點、又ハ其ノ他ノ點カラシテ、斯クノ如キ豫備金支出ハ、是ハ承諾ヲ與フベカラズト云フ意見ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノコトヲ説明ヲサシテ戴キタイ、此ノ度豫算委員會其ノ他ニ於キマシテ、翼贊會ニ關スル質問ハ多々繰返サレマシタ、ソレハ皆サン御聽キノ通りデゴザイマスルガ、段々政府ノ意見ヲ伺ツテ參リマスルト云フト、少シモ政府ハ研究ガ届イテ居ラナイ、或ハ高度ノ政治力ガアルト言ヒ、或ハサウデナイト言ヒ、憲法上ノ問題ニ付キマシテモ、色々々質疑ガアリマシテモ何等之ニ付テ明確ナ答ガナイ、殊ニ此ノ豫備金支出ヲ決定サレル時ニ當リマシテ、私ガ最モ政府ガ研究ガ足りナカッタト思フノハ、政治系統ト翼贊會ト如何ニシテ調和スルカト云フ點ニ付キマシテ研究ガ御足リニナラナカッタ、斯カル研究ノ足リナイヤウナ状態ニ於キマシテ、此ノ重大ナル豫備金支出ヲ決定サレタト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジマス、其ノ政治系統トノ關係ト云フノハ、是ハ申ス迄モゴザイマセヌガ、大政翼贊會ナルモノハ、國家ガ之ヲ認メテ、サウシテ總理大臣ガ總裁トシテ、上意下達、下意上達ノ仕事ヲサル、ト云フ、上意下達、下意上達ノミナラズ、進ンデハ政治力ヲ以テヤラレルト云フコトモアリマ

スガ、假ニ下意上達、上意下達ト云フニツノ點ニ限リマシテ、百歩ヲ譲ツテ、ソレヲ前提トシテ考ヘマシテモ、ソコニ非常ナ危險性ヲ含ンデ居ル、翼贊會ノ者ハ、我々ハ總理ノ部下デア、總理ト總裁ト同一人デア、ル以上ハ、是ハ總理ノ代表デアルト云フコトハ當然デゴザイマセウ、然ルニ各省ノ方ハドウダ、各省大臣ガ色々ナ訓令モ出サレル、又方針モ示サル、然ルニ一方ハ總理ヲ頭ニ被ツテ、俺ハ總理ノ意見ヲ言フノデアルト云フコトデ行ツタナラバ、國民ハ殆ド適從スル所ヲ知ラヌト思フ、今ノ御話デハ、政府ノ意見モ翼贊會ノ意見モ同ジニシテ、ヤッテ行クト云フ御話デアリマス、是ハ到底言フベクシテ行ハレナイ、行ハレナイノミナラズ、危險思想ノ宣傳ニ迄發展シテシマツタ、將來是ガ立派ニ調和ヲシテ行カウナシテ云フヤウナコトハ、到底我々ハ考ヘラレナイ、殊ニ是ハ地方長官ノ身分ニナツタドウデアリマセウ、縣民カラ云ヘバ、強ヒテ惡意ニ解スレバ、翼贊會ノ言フコトハ總理ノ意思デア、縣知事ノ言フコトハ内務大臣ノ部下ノ意志デア、何等内務大臣ノ意思ヲ重ンズル必要ハナイ、縣知事ノ如キハ何デア、ルカト云フヤウナ考ヲ起サナイトモ限ラス、是ハ下意上達ノ方面ニ於テモサウデス、折角縣知事ガ其處ノ縣ヲ預カッテサウシテ自分ガ民情ヲ通達シヨウトシテ居ル時ニ、構ハズ翼贊會ノ人々ガ中央ヘヤッテ來テ色々ナコトヲ言フ、殊ニ俺ハ總理ニ言フ、自分達ハ總理ニ言フノダト云フヤウナコトデアッタ、地方長官ハ何ニ依ツテ仕事ガ出來ルノカ、斯ウ云フヤウナ點ニ

付キマシテ、私ハ内務大臣ニ對シテ色々ナ方面カラ質問ヲ試ミテ見タ、處方今日ト雖モ何等是ハ具體的ナ御説明ガ之ニ對シテ無イ、如何ニシテ其ノ調和ヲ取ルカト云フコトニ付テ御説明ガナイ、是デハ地方長官ガ縣民ニ對シ、命令ヲシ、又下情ヲ上達シヨウト思ツテモ、ドウシテ其ノ職責ヲ盡スコトガ出來ルカ、地方長官ハ最モ顯著ナ例、併シ各省大臣、各省ニ致シマシテモ同ジコトデアラウト思フ、斯カルコトハ、研究ヲ十分果サスデ、具體的ナ研究ヲ盡サナイデ、斯カル豫備金支出ヲ決定セラレタト云フヤウナコトハ、到底今日ノ此ノ重大ナ時局、億兆一心、生産力擴充ニ邁進シナケレバナラナイ今日ニ於テ、ドウシテモ御同意ヲ致スコトハ出來ナイ、此ノ意味ニ於キマシテ私ハ外ノ豫備金支出ハ兎ニ角、此ノ大政翼贊會ノ豫備金支出ニ對シマシテハ、承諾ヲ與フルコトガ出來ナイト云フ意見ヲ主張スル一人デアリマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 他ニ御發言モナケレバ、採決ヲ致シマス、先ヅ採決ヲ致シマスノハ、昭和十五年度第二豫備金支出ノ件中、大政翼贊會補助金九十三萬圓ノ部分ニ付承諾ヲ與フベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(起立者多數)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 過半数ト認メマス、仍テ本件ハ委員長ノ報告通り承諾ヲ與フベシト決シマシタ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 次ニ残り全

部ヲ問題ニ供シマス、残り全部、委員長ノ報告通り承諾ヲ與フルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 次ニ問題ニ供シマスルノハ、日程第一、第二、第三、第五、第六、以上五件ト御承知ヲ願ヒマス、以上五件ニ付、委員長ノ報告通り承諾ヲ與フルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第七、治安維持法改正法律案、政府提出、衆議院

送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長兒玉伯爵

治安維持法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月二十八日

委員長 伯爵兒玉 秀雄

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル〕

○伯爵兒玉秀雄君 只今議題ト相成リマシタ治安維持法改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ、本案ガ我が國體ニ關シマスル重要ナル事項

デアリマスルノデ、屢、秘密會ヲ開キ、或ハ速記ヲ止メテ、慎重ニ審議ヲ重ネタノデアリマス、本法案ハ、現行治安維持法ノ全部改正デアアルノデアリマス、其ノ第一章ニ於キマシテハ、現行法ノ罰則ヲ整備強化シテ居ルノデアリマス、其ノ一ハ、國體ノ變革ヲ目的トスル犯罪ト、私有財産制度ヲ否認ト致シマシテ、國體變革ニ關シマスル犯罪ニ付キマシテハ、禁錮刑ヲ廢シテ懲役刑ノミト爲シ、且刑ノ短期ヲ高メタノデアリマス、其ノ二ハ、國體變革ヲ目的トスル支援結社ニ關スル處罰規定ヲ設ケタノデアリマス、其ノ三ハ、準備結社ニ關スル規定ヲ新設致シタコトデアリマス

〔議長伯爵松平賴壽君議長席ニ著ク〕

其ノ四ハ、結社ニ至ラザル集團ニ關スル規定ヲ設ケタルコトゴザイマス、其ノ五ハ、個人ノ行爲ニ付キマシテ、宣傳其ノ他國體變革ノ間接ノ目的遂行ニ資スルノ行爲ヲ取締ル規定ヲ設ケタルコトデアリマス、其ノ六ハ、類似宗教團體ニ關スル處罰規定ヲ設ケタルコト等デアリマス、第二章ニ於キマシテ刑事手續ニ關スル規定ヲ新設シタノデアリマス、其ノ一ハ、搜查機關ニ對シマスル廣汎ナル強制搜查權ヲ認メタルコトデアリマス、其ノ二ハ、公判手續ニ於キマシテ控訴審ヲ省略シタルコトデアリマス、其ノ三ハ、辯護士ノ指定及其ノ數ヲ制限シタルコトデアリマス、其ノ四ハ、管轄移轉ノ場合ヲ擴張シタルコトデアリマス、第三

章ニ於キマシテハ、豫防拘禁ニ關スル新シキ規定ヲ設ケラレタノデアリマス、非轉向者ニ對シマシテ、之ヲ社會ヨリ隔離致シマシテ、惡思想ノ傳播ヲ防止シ、併セテ思想ノ改善ヲ圖ラムトスルノデアリマス、之ヲ要シマスルノニ、國體變革ニ關シマスル行爲ニ付、特ニ其ノ罰則ヲ強化シ、現在ノ實情ニ即シテ思想犯罪ノ處理ノ敏捷適正ヲ圖リ、其ノ豫防及ビ鎮壓ノ作用ヲ一層效果的ナラシメムトスルノ趣旨ニ出デタル法案デアリマス、從ヒマシテ質疑ノ要點ハ、國體及ビ政體ニ關スル事項竝ニ思想問題ノ根本解決ニ集中シタルノ觀ガアルノデアリマス、御承知ノ通りニ、政府ハ大正十四年第四十五議會ニ於キマシテ、最初ノ治安維持法ヲ提案致シマシタル場合ニハ、其ノ第一條ニ於キマシテ、國體若シクハ政體ノ變革ナル文字ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ、衆議院ハ之ヲ削除シ、政府モ亦之ニ同意ヲ致シマシテ、貴族院ヲモ通過シテ、現行ノ基本法ガ成立シタル沿革ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、修正案ガ貴族院ノ院議トシテ決定セラレマシタル行キ掛リモアリマス、其ノ後ノ情勢ノ變化ニ鑑ミマスル時ハ、本規定ヲ要スルコトガ益、緊切ナルモノガアルコトヲ感ズルノデアリマス、然ルニ今回政府ガ本改正案ヲ起草スルニ當リマシテ、特ニ政體變革ニ關スル事項ニ觸レナカッタノハ、果シテ如何ナル理由ニ依ルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、政體變革ニ關スル事項ハ、之ヲ決シテ輕視シタル

モノデハナイ、唯政體變革ニ關シテハ、法文上之ヲ表現スル正確ナル文字ヲ發見スルコトガ甚ダ難イノデアアル、又其ノ規定ヲ特ニ設ケナクトモ、個々ノ行爲ニ付テハ、或程度迄他ノ刑法等ノ法令ニ依リテ之ヲ取締ルコトガ出來ルガ故ニ、今回ハ之ヲ除イタルモノデアアルト云フ説明ガアッタノデアリマス、然ルニ委員ハ更ニ進ンデ、國體ノ意義、政體トノ關係ヲ明白ナラシムルコトハ、本案ノ審議上最モ必要ナル事項ナリトシテ質問セラレタルニ對シマシテ、政府ハ次ノ如ク述ベテ居ルノデアリマス、國體ノ意義ハ既ニ確立シテ居ルノデアアル、大審院ノ判例ニ依リマスレバ、我が帝國ハ萬世一系ノ天皇君臨シ、統治權ヲ總攬シ給フコトヲ以テ、其ノ國體トス、斯クノ如ク決定セラレテ居ルノデアリマス、故ニ、治安維持法ニ於テモ、所謂國體ノ意義モ亦斯クノ如ク解スベキモノデアアルト述ベラレテ居ルノデアリマス、尙國體ト政體トノ意義ニ付キマシテハ、觀念上明確ナル相違アルコトハ論ヲ俟タザル所デアリマス、而シテ政體ハ統治權ノ働キヲ意味シ、立憲政治又ハ憲法上ノ各種機關ニ依ル統治權ガ行使セラル、形ヲ意味スルモノデアアル、從ッテ政體ノ變革ト國體ノ變革トハ、勿論同一デハナイ、但シ統治權ガ 天皇ニ存スルトナスモ、其ノ實ヲ失ハシムル如キハ、國體ノ變革トナルガ故ニ、斯カル點ニ於テ兩者ノ間ニ一脈ノ繋リ合ガアル、ソレカラ又政體ナル語ハ、其ノ内容ガ極メテ曖昧デアッテ、如何ナル範圍

ノ事項ヲ以テ政體トナスカラ、確定スルコトガ困難デアルト政府ハ説明サレテ居ルノデアリマス、次ニ豫防拘禁ニ關シマシテハ、豫防拘禁ハ、期限ニ制限ノナイ重大ナル處分デアアル、殺人、強盜等直チニ兇行ヲ敢テスル者ニ限ッテ適用スベキデアアル、再犯ノ虞ガアル故ニ之ヲ拘禁セムトスルナラバ、内亂罪等ニモ之ヲ及スノ必要ガアルデハナイカ、不定期刑ヲ科スルナラバ其ノ目的ヲ達スルノデハナイカト云フ意見ニ對シマシテ、政府ハ、豫防拘禁ハ、人身ヲ拘禁スル重大ナル制度デアアルカラ、裁判所ニ於テ之ヲ行フノ適當トスルノデアアル、不定期刑ヲ以テシテハ、現ニ入獄セル者ニシテ將ニ出獄セムトスル場合ニ之ヲ適用スルコト能ハザルヲ以テ、實際上今日ノ間ニ合ハナイコトニナルノデアアル、非轉向確信犯人ハ、入獄中ニ於テサヘモ犯行ヲ計畫スル實狀デアアルガ故ニ、之ニ對シテ直チニ豫防拘禁ヲナスノ必要ガアルノデアアル、思想犯ハ確信犯デアアルガ故ニ之ヲ適用スルノデアアル、他ノ内亂罪ノ如キ犯罪ニ適用スベキモノデハナイト説明サレテ居ルノデアリマス、次ニ思想犯問題ヲ解決スルニハ、當ニ法律ノミヲ以テ之ヲ匡正スルコトハ到底困難デアアル、其ノ根本原因ヲ深く研究シテ、教學ノ刷新、信仰心ノ向上等ニ力ヲ致スコトガ必要デアラレタニ對シマシテ、政府ハ、教育ノ根本義ハ國體ノ本義ヲ徹底セシムルノニアル、滿洲事變以來、學生ノ思想ハ幾分純化シ

ツ、アルガ、未ダ其ノ理想ヲ十分ニ徹底スルニ至ラザルヲ遺憾トスルノデアアル、自然科學ノ方面ニ於キマシテモ、假令學問ハ國際的デアッテモ、其ノ人格ニ於テハ飽ク迄モ日本人タルノ信念ヲ失ッテハナラヌノデアアル、宗教情操ノ缺如ハ、教化上一大缺點デアアルカラ、大イニ努メナケレバナラヌト云フ意見デアリマシタ、次ニ現時ノ思潮ハ何トナク新シキ世界ヲ求めムトスル風潮ガアル、是レ赤化ノ溫床トナル所以デアアル、之ヲ防止スルニハ、單ニ刑罰ヲ以テシテハ其ノ目的ヲ達成シ難イノデアアル、教育ニ依ルハ勿論デアアルガ、其ノ他ニ於テモ思想善導ニ務ムル要ガアル、更ニ綜合的ニ思想情勢ヲ審カニシテ、根本的ニ之ヲ善導シ匡正スルノ必要ヲ論ゼラレタニ對シ、政府ハ、全然同感ノ意ヲ表セラレテ居ルノデアリマス、次ニ民族獨立運動ニ關シ、其ノ範圍如何、自治運動ハ之ニ包含スルヤトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、民族運動ニシテ本法ニ觸ル、範圍ハ、國體變革、即チ統治權排除ノ場合ニ限ルノデアアル、從ッテ自治運動ハ必ズシモ直チニ本法ニ觸ル、モノニ非ズト説明サレテ居ルノデアリマス、其ノ他天皇機關説、財産還還論等ニ關シマシテ有益ナル質問ガ重ネラレタノデアリマスガ、是ハ速記録ニ讓ルコトニ致シタイト思ヒマス、斯クノ如クシテ質問ヲ終了致シマシテ、討論ニ入りマシタノデアリマス、討論ニ入りマシテカラ、一委員ヨリ次ノ如キ修正意見ガ提案セラレ、定規ノ賛成ヲ經テ

動議ハ成立シタノデアリマス、其ノ修正意見ハ二ツアリマス、即チ次ノ如キモノデアリマス、一ツハ第十條ノ修正、一ツハ第十一條ノ修正デアリマス、全文ヲ朗讀致シテ置キマス、「第十條 私有財産制度ヲ否認シ又ハ憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者又ハ情ヲ知りテ結社ニ加入シタル者若ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス、第十一條 左ノ一項ヲ加フ、前條ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ヲ宣傳シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」此ノ修正案デアリマスルガ、要ハ政體變革ニ關スル取締規定ヲ設クルコトト、私有財産制度否認ニ關シマシテ宣傳取締ガ抜ケテ居ルガ爲ニ、此ノ規定ヲ加ヘタイト云フ趣旨ニ出デテ居ルノデアリマス、修正意見ノ大要ハ次ノ通りデアリマス、昭和九年第六十五議會ニ提案セラレマシタル治安維持法ニ對シマシテ、貴族院ハ幾多ノ修正ヲ加ヘ、之ヲ衆議院ニ送付シ、兩院協議會ニ於テ不成立トナッタノデアリマス、其ノ修正案中ニハ政體變革ニ關シ又ハ私有財産制度否認ノ宣傳ニ關シ、本修正案ニ規定セラレマシタルモノト同一ノ修正條項ガアッタノデアリマス、而シテ本員ハ、此ノ貴族院ニ於キマスル沿革ニ鑑ミマシテ、修正案ノ理由ヲ一言以テ之ヲ申上ゲルナラバ、院議尊重ニ盡キテ居ルノデアリマス、尤モ其ノ當時ノ修正事項ト致シマシテハ、數箇條ニ上ッテ居ルノデアリマスルガ、其ノ中ニ、豫防拘

禁ニ關係致シマシテハ、其ノ規定ノ精神ニ反對シタノデハナクテ、更ニ研究シテ改メテ提案スベシトノ理由ニ基イタルモノデアリマス、爾來、其ノ後ノ推移ニ依ッテ考ヘマスレバ、此ノ規定ノ必要ヲ認メルコトノ切ナルモノガアリマスルガ故ニ、今回ハ之ヲ修正條項ニ加ヘナカッタノデアアル、又第二章ニ於キマシテモ、嚴重ナル刑事手續ヲ規定シテアルガ、是ハ過日本會議ニ於キマシテ議決セラレマシタル國防保安法ニ依リマシテ、同一規定ノ議決セラレタルモノガアリマスルガ故ニ、其ノ儘ニ致シテ置イノデアリマス、而シテ政體變更ニ關スル取締ハ、爾來日ヲ逐ウテ其ノ必要ヲ加フルノミナラズ、私有財産制度否認ニ關スル宣傳ヲ取締ラスルノ必要モ亦然リデアアル、是レ本修正案ヲ提出スル所以デアルト陳ベラレテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ、司法大臣ハ政府ヲ代表シテ次ノ如キ重大ナル言明ヲサレテ居リマス、司法大臣ノ修正案ニ對スル言明、修正案ノ要點ハ、憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞セムトスル者ヲ取締ラムトスルノニ在リマシテ、御趣旨ノ在ル所ニ付キマシテハ十分了承致シマスガ、之ヲ法文ニ現スニ付キマシテハ、更ニ周到ナル考究ヲ要シマスノデ、藉スニ時日ヲ以テセラレタイト存ジマス、此ノ趣旨ヲ以テ慎重研究ノ上、近キ將來ニ於テ立法手續ヲ執ルコトト致シタイト存ジマス、尙私有財産制度否認ノ宣傳ヲ取締ラムトスル點ニ付テモ、同様考慮致シタイト存ジマス、斯

クノ如キ言明ガアツタノニ對シマシテ、更ニ一委員ヨリ、近キ將來トハ如何ナル意味デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ緊急ノ必要ガアルナラバ緊急勅令ニ依リ、然ラザルモ次ノ議會ニ提案スベシト重ネテ言明セラレル所ガアリマシタ、右終リマシテ修正案ノ採決ニ入ッタノデアリマスガ、修正案ハ少數デ否決セラレタノデアリマス、次イデ原案ニ付キマシテ、次ノ如キ贊成意見ガ陳ベラレタノデアリマス、今日内外ノ情勢緊迫ヲ告ゲ、生活上不安亦甚カラザル情勢ニ於テハ、勢ヒ思想上ノ危險モ之ニ伴フモノデアリマス、之ヲ匡正スル爲、今回遺憾ナガラ本法ノ制定ノ必要ヲ痛感スル次第デアリマス、改正案ニ於キマシテハ、其ノ罪ヲ加重シ、又現狀ニ即シテ、結社ノミナラズ個人ノ行爲ニ付テモ周到ナル規定ヲ設ケ、團體ノ尊嚴ヲ維持スルニ努メ、又私有財産否認ノ風潮ハ漸ク滋ク、動モスレバ團體變革ニ陥ラムトスル虞ガアル故ニ、之ヲ防止スルノ規定ヲ設ケタルハ誠ニ當ヲ得タルモノデアアル、又政體ノ變革ニ關スル規定ニ關シテハ、政府ノ言明ヲ信賴シ、速カニ緊急勅令ニ依リ、又ハ來議會ニ適當ナル成案ヲ提出セララル、コトヲ信ジ、本案ニ贊成スルモノデアアル、尙豫防拘禁ニ關シテハ、其ノ運用宜シキヲ得ザレバ社會不安ヲ招クベク、又思想犯ノ對策トシテ各省連絡シ、必要アレバ特別ナル機關ヲ設クルノ必要アルベク、更ニ假令如何ニ法ガ嚴重ナルモ其ノ根本ヲ清メサレバ之ヲ根絶シ難シ、教育ノ

根本ノ刷新ヲ要望スルト述べラレ、本案ニ贊成ノ意ヲ表セラレマシタルト同時ニ、希望決議ノ提案ヲセラレタノデアリマス

希望決議

思想犯罪ハ近年其ノ數激増シ罪質惡辣ナルノミナラズ其ノ行動計畫的ニシテ往々戰慄スヘキモノアリ洵ニ深憂ニ堪ヘズ政府ハ速カニ各省ニ互ル思想問題ニ關シ徹底的の統合ヲ圖リ斯ノ種思想ノ因ッテ生ズル所ヲ究メ未然ニ之ヲ防止スルノ途ヲ講ズルト同時ニ教學ヲ根本ヨリ刷新シ以テ思想犯罪ノ絶滅ヲ期スベシ

是ガ希望決議デアリマス、此ノ希望決議ニ對シマシテ、一委員ヨリ、共產黨ニ關スル犯罪ハ近時頗々増加シツ、アル、是レニ其ノ根本ノ絶エザルノ證據デアアル、從ッテ此ノ際ハ、本法ノ嚴正ナル施行ヲ特ニ望ムト共ニ、政體ニ關スル修正規定ガ成案トナラザル今日ニ於テハ、取敢ズ他ノ法律ノ運用ニ依リテ萬遺憾ナキヲ期セラレタク、又訴訟手續ノ改正ニ伴ヒマシテ希望スル所ハ、檢事ハ公益代表ノ高キ信念ノ下ニ活動セラレタイト云フコトデアアル、ト述べラレテ居ルノデアリマス、尙他ノ一委員ハ、假令内閣ガ變動スルトモ、政府トシテハ飽ク迄司法大臣言明ノ趣旨ヲ貫徹スルコトニ誤リナキヲ期サレタイトノ意見ヲ述べラレテ居ルノデアリマス、斯クシテ討論ハ終結セラレマシテ、採決ニ移ッタノデアリマス、治安維持法改正法律案ニ付、採決ヲ致シマシタル結果、原案ヲ可トスル者多數、原案ハ可決セ

ラレタノデアリマス、次デ希望決議ノ採決ヲ致シマシタル處、全員一致可決ヲ見タノデアリマス、之ニ對シ内務大臣ハ、政府ヲ代表シ、希望條件ハ全ク同感デアアル、思想犯防止ハ、其ノ第一ガ教學刷新ニアルト同時ニ、其ノ取締ニ關シテモ萬遺算ナキヲ期スル積リデアアル、蓋シ現時ノ實情ハ、國內情勢、世界情勢ニ原因スルモノ多キヲ以テ、政府ガ各部ニ互ッテ連絡ヲ密ニシ、政府全體ノ責任ヲ以テ之ニ當ル次第ナリト言明セラレタノデアリマス、斯クシテ治安維持法改正法律案ハ、原案通り可決セラレタノデアリマス、右御報告申上ゲマス

〔起立者多數〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問

題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第八、筑肥線桃川、大村線彼杵ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願、會議

意見書案

筑肥線桃川、大村線彼杵ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

佐賀縣唐津市長岸川善太郎外十九名呈出

右ノ請願ハ筑肥線桃川驛ヨリ佐賀縣武雄、嬉野ノ兩町ヲ經テ大村線彼杵驛ニ至ル鐵

道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル採炭、製茶、製陶等ノ各種産業上貢獻スル所大ナルノミナラス門司、長崎間ノ捷徑トナリ且唐津、釜山間ノ海底鐵道開通ノ曉ニハ南支那ヨリ長崎ヲ經テ朝鮮ニ通スル重要幹線トシテ運輸交通並國防上寄與スル所少カラサルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十六年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

○議長(伯爵松平 賴壽君) 本請願ハ、請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平 賴壽君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ本日ノ日程ハ全部終了致シマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時十三分散會

貴族院議事速記録第四號正誤

頁 段 行

誤

正

四三 一六―七

「ツエルシュメルツェン」

「フエルシュメルツェン」

貴族院議事速記録第十二號正誤

頁 段 行

誤

正

九四 一 一九 特長

特徵

九七 三 一二 或ガ

我ガ

九八 四 一四 誰ヲ

「ダレー」ヲ

一〇〇 二 一〇 易シ

優シ

〃 一五 易シ

優シ

貴族院議事速記録第十四號正誤

頁 段 行

誤

正

一三五 一 二九 解放

恢弘